

チラシ等に使用する文言・キャラクターデータ等

ア 必ず使用するもの

- (ア) 札幌市いのちの大使 CHUPUKA

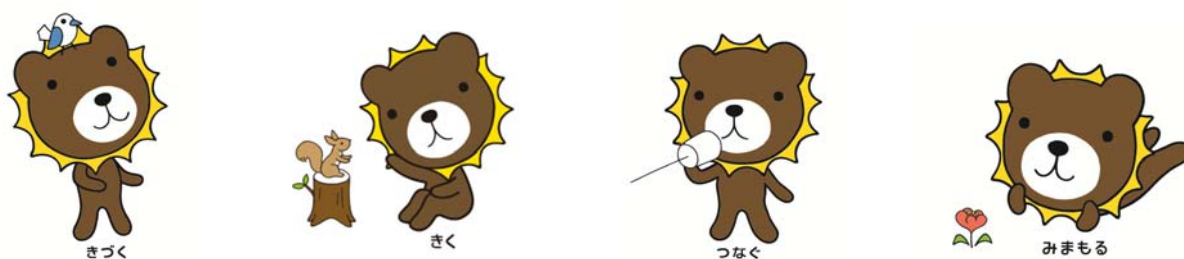


- (イ) 札幌市自殺総合対策のフレーズ
 ・ わたしは、ほっとけない。
 ※使用するフォントは、従来作成しているポスター等に準じたものとする。
- (ウ) デザインパーツ

♡ いのちを支えあう街へ。札幌市

イ 活用が望ましいもの

- (ア) CHUPUKAのゲートキーパー4ポーズ「きづく」「きく」「つなぐ」「みまもる」
 ※使用の際は、4ポーズすべてを同一のチラシ等に掲載すること



- (イ) 札幌市自殺総合対策のフレーズ
 ・ ひょっとしていのちの問題かもしれません。
 ※使用するフォントは、従来作成しているポスター等に準じたものとする。

ウ 使用可能なもの

デザインパーツ

- ・虹



- ・電車



- ・街



<使用例>

わたしは、ほっとけない。
一人ひとりが、いのちを守る「ゲートキーパー」に。

きづく
～周囲や周囲の状況に気づいて、声をかける～
みんなの助け合いが大切です。何かいつもと違うと気づいたら、声をかけてあげ、「心配している」というメッセージを送りましょう。大切な人へのこのサインに気づくことが大切です。

きく
～本人の気持ちを察知し、声をかける～
話を聞くときには、相手の話を遮りません。じっくり話を聴くことが大切です。
「話を聞いてもらってうれしかったです」といえることも大切です。

つなぐ
～早急に専門家に相談するよう促す～
話したいのを助けてもらうには、必要なものを伝えます。話を聞いてもらう。本人の気持ちも受けとめてから、必要があれば、医療機関や専門機関へ相談をつなげてあげてください。

みまもる
～誰かか寄り添いながら、じっくりと話す～
誰かがこの人の状態について、話さずには聞かない状態に保つことが大切です。話のペースに合わせて話しかけたり、話を聞いてくれるように見守り、話さずに声をかけながら、静かに話を聞いてあげてください。

ゲートキーパー
ゲートキーパーとは、悩める本人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要に応じて助け、サポートする人のことです。特別な訓練はいりません。

CHUPPIKA